

本年度も、泉北高校のSSHの課題研究発表会を、大阪府立大学学術情報センター・Uホールで開催しました。今年度は総合科学科第3学年の生徒116名が、数学3班・情報2班・物理7班・化学6班・生物10班・地学2班の計30班に分かれて、昨年6月から課題研究に取り組んでいた内容を発表しました。写真は口頭発表・ポスター発表の様子です。大阪教育大学附属高校天王寺校舎と大阪府立三国丘高等学校が招待発表としてきてくれました。



口頭発表の演題としては、『ダイラタント流体を用いた衝撃緩和』・『スリンキーの動作解析』・『チョークを再利用したガラスの作製』・『光る指示薬を作ろう』・『円弧を歩くダンゴムシの行動』・『ニホンアマガエルの体色変化と環境条件』・『乳酸菌の増殖条件について』・『インターバルカメラを用いた雲の研究方法』・『ポーカーの確率って?』・『Kinectを使ったプログラミングの応用』



でした。招待発表の演題は大阪教育大学附属天王寺が『セイトカアワダチソウで自然農薬を作ろう』、大阪府立三国丘高等学校が『光の速さを追って』でした。生徒たちは、3年間の研究成果を十分に出し尽くした発表をしてくれました。

口頭発表の最後には運営委員の大阪市立大学理学研究科教授の田中俊雄先生に講評をいただきました。発表会の後、SSH運営指導委員会も開き、審査委員を務めていただいた大学の先生や教育委員会の先生方から、課題研究の講評をいただきました。

- ・初めて聞いたものでもわかるストーリー性をもたせた発表が出来ていた班がいくつかあり、非常に聴きやすかった。
- ・発表する内容や姿勢が良くなってきている。英語の abstract を覚えて、発表することができている班も多かった。原稿を見ずに発表して、自分の言葉で伝えるという意識をしっかりと意識してください。
- ・SSH3期目として、さらに人の発表に対して応答する姿勢（質疑応答を行うことにより、より深めていくことができる）を身につけていければもっと良くなるのではないかな。
- ・誤差、エラーバー、有効数字等などにも気を使うこと。
のような意見をいただきました。

現在、2年生が課題研究のテーマを決め、研究を始めようとしています。3年生の今回の課題研究発表を聞いて、自分達の課題研究のテーマの設定や研究方法の進め方について、大きな示唆を得られたことと思います。2年生も先輩たちの研究に負けることなく頑張ってください。